

東越谷プレーパーク (プレーパーク教室)

参加者募集要領

東越谷プレーパークは、越谷市放課後子ども教室として開催しています。通常の公園としての利用もできますが、感染症防止のため教室への参加には申込みが必要となります。

対象：市内在住の小学生 1年生～6年生
開催予定：毎月第3土曜日（9月より開始予定）
時間：13時～16時予定
活動場所：東越谷第7公園※裏面下部に地図あり
参加費用：年間保険代800円※返金できません
定員：17名

●参加方法

越谷市 HP(放課後子ども教室ページ)のリンクから、電子申請を行ってください【※申込み期間 8/1～8/10】。申込み前に必ず「申込みにあたっての注意事項」をよくお読みください。右のQRコードから、越谷市 HP にアクセスできます。



遊びあふれるまちへ



越谷にプレーパークをつくる会 通信

57号

8月発行
2020

不安が希望にかわる時 ～コロナに負けない遊びのちから①～

昨年の2月ごろから私たちの生活が一変しました。新型コロナウイルスという目に見えないものの恐怖に世界中が影響を受けました。

■遊び場休止中に感じた不安

私たちの活動も例外ではありませんでした。3月～6月27日に大袋でのプレーパークを再開するまで遊び場はお休みに。幼稚園や学校は休校となり、子どもたちの活動も制限され、自由に外にでて友達とおしゃべりすることさえできない時間が続きました。聞こえてくるのは外で遊んでいたら警察が見に来たとか、近所の人に注意されたという話。子どもが遊ぶことや子どもらしく振舞うことがますますできなくなる世の中がやってくるのではないかという不安が大きくなっていきました。また子どもの遊びが不要不急なもの扱われていくことに今までの活動はなんだったのかとむなしさばかりが募りました。

6月になりようやくプレーパークの再開が決まりましたが、検温やマスクの着用や消毒など今まではない対応を求められ、「これで本当に自由な遊び場と言えるのだろうか」とまたも悩みが膨らみます。↑



■“遊びっぷり”が不安を一気に吹き飛ばす

6月27日。プレーパークを開いてみると、待っていましたとばかりにやってきた常連だった親子やここでなら遠慮しないで遊べると期待してやってきた親子。マスクはしているものの今までと何も変わらない遊びっぷりを見せてくれました。私の不安は一気に吹き飛びました。私たちは自由に遊べる「場」を開けばそれでいいのだと。Withコロナ時代だからこそ子どもも大人も自分らしくいられる「場」を私たちらしく楽しく、面白く作り続けていきたいと感じています。さあ、どんな方法でやろうか?・・・一緒に考えませんか。(代表理事 潤野彩子)

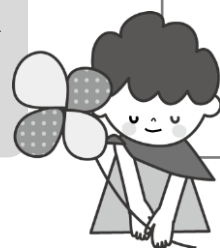


プレーリーダーみたけるとはっちが持つビニールシートに泡をかけて遊ぶ幼児

地域の皆さん

ありがとうございます

荒井畳店さま 坂本さま 山崎さま
カスミフードスクエア越谷大袋店さま
加藤工務店さま 樺(けやき)組さま
タイヤガーデン越谷さま
ドラッグストアセキ花田店さま
日本工業大学さま 丸孝木材(株)さま
(株)山下工務店さま
木材・工具・竹・タープ・古タイヤ・ダンボール・お野菜などを提供いただいております。



会員になってプレーパークを応援しませんか

全国各地で400を超える団体が冒険遊び場づくりに取り組んでいます。越谷にプレーパークをつくる会は、有志の市民が中心となってボランティアで運営しています。会費は活動の大切な資金となっています。越谷市が「遊びあふれるまち」になるよう一緒に願ってくれる方を募集しています。

■正会員 2000円/年
(活動趣旨に賛同し積極的に応援)

■賛助会員 1000円/口 何口でも!
(財政的にサポート)

会費・寄付金は郵便振替でもお受けしております。

00540-2-78897 NPO法人越谷にプレーパークをつくる会

『モットーは自分の責任で自由に遊ぶ』

普通の公園が禁止事項ばかりなのは、何かあったときに「公園をつくった人が悪い」と管理者の責任を追及する傾向があるからです。子どもが公園で自由に遊ぶには、「事故は自分の責任」という考え方が基本です。

プレーパークって?

「〇〇してはいけません」という禁止事項のない遊び場。何をしてもいい、なにもしなくてもいい。穴掘り、木登り、泥んこ遊びや火を使った遊びなど、子どもたちが「やりたい!」と思ったことを自由にできるように、大人たちが知恵を出し合って運営しています。



プレーリーダーって?

子どもととことん遊び、ありのままを受け入れ、遊び全体に目を配ります。遊びの種を蒔き、遊びを通して子どもたちの相談相手にもなってくれる、親でも先生でもない子どもと対等な大人です。遊びに伴う危険を予測して対応し、遊び場の整備なども行います。

NPO法人 越谷にプレーパークをつくる会

みんなの遊びっぷりをブログで
たっぷり紹介しています ⇒⇒⇒
Facebook もやっています。



MAIL koshigaya.asobo@gmail.com
TEL 090-7411-4693 (瀏野)
FAX 048-978-3817

プレーパーク 越谷





～コロナに負けない遊びのちから②～

「それぞれの思いを言葉にして」

7/4 (土)、原っぱ公園一面に広がる草花。大きな水たまりもあって湿地帯を連想する風景にワクワクします。この日の子どもたちは、目の前の遊びに夢中でした。遊びを通してそれぞれの思いを、声や体で表現しています。仕草の中に子どもたちの声が聞こえます。子どもの遊ぶ姿に大人たちの心も自然にほぐれ「心の距離」は近くに。コロナ自粛中に工夫しながら過ごした事など保護者の方と色々な話ができました。☎️ マスクで特に乳幼児に表情が伝わりにくいと感じたとき、プレーリーダーみたけるが、子どもの

横で真似っこして遊んでいました。真似されてくすぐったくて笑っちゃみたいで、互いにつられて笑いあって、見ているだけでなんだか楽しい。表情が見えなくても、子どもたちと一緒にリズムを合わせて遊ぶと伝わる！のですね 😊😊 今までよりも道具も時間も限られた中でのプレーパーク開催に、不安とやるせない気持ちがあった私。ですが、今、やりたい遊びをする子どもたちの様子を見てみると、遊び場に制限があることに対して心配することは無いのかもしれない、と思いました。大切なのは遊びたいと思う気持ちなのだ。大袋プレーパークはそれぞれの思いを表現という豊かな言葉で伝える遊び場なのだ改めて発見できました 😊 (プレーリーダー・トッキー)

🌀プレーリーダーはっちのコラム🌀

はっちがのぞいた👁️👁️こどもの世界ア1

こんにちは！プレーリーダーは、こどものあそび姿の近くにおいて、こどもの世界を垣間見させてもらえる、とっても幸せな仕事だなあと感じています。このコラムでは、私が出会ったこどもの姿を少しずつ書いていこうと思います♪

プレーパークにいますと、こどもたちの“初めて”にたくさん出会う。

7月の大袋プレーパークに来た4才くらいの子は、泥で遊ぶのが初めてだった。毎日の雨でたまった大きな水たまりに興味をもち、靴を脱いで一緒に入った。泥の感触に「ぐによぐによだね」、水たまりの場所によって「あったかいね」と言いながら、水たまりの道を何度も行ったり来たり。ずっと泥で遊んでいった。2才くらいの子は、裸足で地面におりるのが初めてだった。足は裸足だけれど、靴を履くのも地面におりるのも嫌。ちょっと足をつけてみては、お母さんにしがみついて

いた。どうかな～と見守りながら少しすると、裸足でおりてきた。土山をのぼって、下るのはどきどきしながら。だんだんと慣れてきて、足で土や草を踏みしめていた。初めて足の裏で感じた地面はどうだっただろう？

初めての泥や土が、楽しかったり気持ちが良いと思う子もいれば、感触にびっくりしたり、気持ち悪いと感じる子もいる。感じることや、慣れていくペースはそれぞれ違う。それに良いも悪いももちろんない。何かに興味が湧いて、やってみる。やってみて、「たのしい」って思うことも、「いや」って思うことも、その子が自分でやってみたらこそわかったこと。“初めて”って、そうやって新しい世界と出会うこと。こどもが自分の意思で新しいことに挑戦し、感じられる時間や場所って、今どのくらいあるだろう。そういう環境が、こどもの育ちにたくさんあってほしいと思う。

はっち (早川七海)



大袋プレーパーク 越谷市プレーパーク事業

(西大袋第1号近隣公園内 大袋幼稚園そば)
 ※毎月第1(土)他 @大袋原っぱ公園 (大竹 617-1) 小雨決行/荒天中止

ちびころ

小さな子も外遊びを楽しんでほしいと願って作った未就学児の親子の遊び場です。

※毎月第3(火) @大袋原っぱ公園 (大竹 617-1) ※雨天中止 (当日 Facebook でお知らせ)

※お願い※
 開催日と開催時間は
 facebook・ブログで
 確認してください。

講座のご案内

みつけて

あつめて

「お外であそぶ」



大袋地区センター主催で毎年行っている乳幼児親子のための「外遊び講座」(全4回)。今年はコロナ禍でどうやって開催するか悩んだ結果、オンライン講座に挑戦することにしました！

子どもの成長に「あそび」は欠かせないもの。それはこのコロナ禍でも変わりません。第1回はオンライン講座で「親子でのびのびあそぶコツ」をお話します。せっかくなので参加者同士の交流にも挑戦です。第2・3回は原っぱ公園で実際に外遊びに繰り出します。小さい子どもをもつ親は外に連れ出して遊ぶことに不安を感じている人

もいるかもしれません。しかし、お家にこもりっきりの日々で鬱々とした気分になっていませんか？感染対策はしっかり行いますので、思いっきり外遊びを楽しみましょう。

第4回は再びオンライン交流会。ウィズコロナのこれからの時代、リアルでもオンラインでもつながれる関係性を作っていくことは、孤独になりがちな子育て親子を救うきっかけにもなるかもしれません。

乳幼児親子のお知り合いがいる方は、ぜひこの講座のPRをよろしくお願ひします。(とまと)

- 全4回の日程
- ①9/10(木) 初回講座の参加が必須です。
- ②9/24(木) ③10/8(木) ④10/22(木)
- 申込み・問合せ 大袋地区センター【048-975-3952】

ちびころ再開

大袋プレーパークに続き、乳幼児親子のための遊び場「ちびころ」も約7ヶ月ぶりの再開を果たしました。久しぶりに会う子どもたちはぐっと成長した姿と、いつもどおり原っぱ公園の自然を全力で楽しむ姿を見せてくれました。連日の雨でできた水たまりは小さい子たちが泥遊びに挑戦するには丁度いい大きさだったようです。1歳初参加の女の子から5歳のベテラン女子まで、思い思いの外遊びを楽しんでくれたのでは無いでしょうか。



2020.07.21.ちびころ/原っぱ公園

ただ、こうしてちびころを再開できたのはママスタッフたちの協力のおかげであることを忘れてはいけません。プレーリーダーがいないちびころでは、準備や片づけ、見守りをしてくれるママたちの力は欠かせません。自ら子連れの参加者でもありながら、場を見守り、子どもたちの遊びに寄り添ってくれます。だからこそ運営スタッフも安心してちびころを続けていけるのだと思います。

お外で過ごすちびころののんびりとした時間は私にとって癒しの時間です。次の開催日が今から待ち遠しいです。(とまと)

東越谷プレーパーク 越谷市放課後子ども教室 (070-2649-0832)

毎月第3土曜日 (※) ・小雨決行/荒天中止) @東越谷第7公園 (花田1-4)

▶9月より開始予定 ▶13時～16時予定

越谷市放課後子ども教室は、感染症防止に配慮した活動内容を予定しています。子ども教室への参加方法については裏面上部をご確認ください。

